

3. 優先的検討段階における収益化の考え方 ～収益型事業・コンセッション事業～

- ① 運用の手引策定に向けた対応
- ② 収益化に向けた考え方(アクションプランの解説)

3. 1 収益型事業について

3. 2 コンセッション事業について

【運用の手引の骨子(案)】

第一章 実効ある優先的検討の運用に向けて(基礎編)

- 1. 優先的検討指針に関する解説 全論点+啓発
- 2. 事業手法選定にあたっての考え方 論点2、論点3
- 3. 簡易な検討における数値設定等 論点4

第二章 PPP/PFIの推進に向けて(応用編)

- 4. 収益化に向けた考え方(アクションプランの解説) 啓発
- 5. 優先的検討段階における収益化の考え方 論点5
- 6. 庁内推進体制の構築について 論点1、論点6

①運用の手引策定に向けた対応

1. 運用の手引策定に向けた考え方(第1回優先的検討部会資料より抜粋)

論点5(コンセッション事業等の検討方法)

- ・優先的検討の段階から余剰地の活用や民間の収益施設との併設の可能性等を模索することが望ましく、検討方法・留意点等を示す。
- ・さらには、公共施設等の運営をより広範に民間経営に委ねるコンセッション事業への可能性についての検討を促す。
⇒・コンセッション事業・収益型事業を行うことが親和的な事業分野を示したうえ、検討すべき事項や留意点等を示す。
- ・上記に加え、コンセッション事業・収益型事業を検討するうえで参考となる事例を示す。

2. 部会意見

手引に盛り込むべきポイント

- 経営的な視点に興味を持ってもらうための情報
- コンセッションを先行して検討を進めている地方公共団体の検討過程
- 運営権対価の考え方

3. 部会意見を踏まえた運用の手引策定に向けた対応

1. PPP/PFI推進アクションプランの考え方(収益化)を解説
2. 収益型事業やコンセッション事業の事例(事業例や事業方式選択にあたっての考え方等)の提示
3. 優先的検討段階における収益型事業やコンセッション事業の検討方法・留意点を説明

②収益化に向けた考え方(アクションプランの解説)

コンセッション事業・収益型事業の推進の考え方

○アクションプランの考え方を周知・啓発

- ✓ 新たなビジネス機会の拡大、公的負担の抑制による経済・財政一体改革推進
- ✓ 民間の経営原理を導入するコンセッション事業を活用することが重要
- ✓ コンセッション事業を活用するためには、その前段階として様々な収益事業の活用を進めることが効果的であり、収益性を高めつつコンセッション事業への移行を目指す
- ✓ 運営費等一部の費用のみしか回収できないようなケースであっても、混合型PPP/PFI事業として積極的に取り組むことにより、少しでも公的負担の抑制等を図るという姿勢が重要

事業規模目標(目標期間:平成25年度～平成34年度)

○コンセッション事業

事業規模目標:7兆円

重点分野(件数目標):空港(6)、水道(6)、下水道(6)、道路(1) + 公営住宅(6※)、文教施設(3)

※公営住宅には収益型事業や公的不動産利活用事業を含む

○収益型事業

事業規模目標:5兆円

人口20万人以上の地方公共団体で収益型事業実施を目指す